

1 五箇のまち並み

種別 ②
スポット 紙の文化博物館、卯立の工芸館、パピルス館、大瀬神社
所在 越前市不老町、大瀬町、若木町、新在家町、定次町
アクセス JR武生駅から福鉄バス「和紙の里」下車 徒歩3分



2 愛宕坂周辺の足羽山・足羽川

種別 ②
スポット 愛宕坂・自然史博物館・足羽神社・足羽川堤防
所在 福井市足羽1丁目ほか
アクセス JR福井駅から徒歩20分



3 六呂瀬山古墳群から望む坂井平野の営み

種別 ①、その他
スポット 六呂瀬山1・3号墳
所在 坂井市丸岡町上久米田・下久米田
アクセス 北陸自動車道丸岡ICから車30分



4 平泉寺石畳の参道

種別 ②
スポット 史跡エントランス（解説板）、牛岩・馬岩
所在 勝山市平泉寺町平泉寺
アクセス 中部縦貫自動車道勝山ICから車10分



5 安波賀街道

種別 ⑦
スポット 戸見道遺構、戸見道
所在 勝山市鹿谷町北西侯
アクセス 中部縦貫自動車道勝山ICから車5分



6 神の島・雄島を取り巻く暮らしと生業

種別 ①、その他
スポット 大瀬神社
所在 坂井市三国町安島
アクセス 京福バス「雄島」下車 徒歩3分



7 許佐羅江清水

種別 ⑤
スポット 湧水池
所在 鯖江市定次町
アクセス JR鯖江駅から徒歩15分



8 九頭竜川鳴鹿大堰

種別 ⑥
スポット わくわくRiver CAN
所在 永平寺町法寺岡地先
アクセス えちぜん鉄道永平寺口駅から徒歩15分、北陸自動車道福井北ICから車10分



9 白山神社のカツラ

種別 ⑥
スポット 下打白山神社
所在 大野市下打
アクセス 中部縦貫自動車道勝原ICから車10分



10 タンス町通り

種別 ⑥
スポット 越前単句会館
所在 越前市元町、本町
アクセス JR武生駅から徒歩10分



11 九頭竜湖

種別 ⑤
スポット 箱ヶ瀬橋（九頭竜湖夢のかけ橋）
所在 大野市長野、野尻、大谷、箱ヶ瀬、下半原、上半原、荷春、面谷、米俣、伊、久澤
アクセス 中部縦貫自動車道勝原ICから車30分



12 加越国境の旧北陸道

種別 ⑦
スポット 文化財説明板、往來安全の名号塔、お国境の名号塔
所在 あわら市船岡本
アクセス 北陸自動車道金津ICから車15分



13 井江殿八幡神社の杜叢林

種別 ⑥
スポット 八幡神社 両部鳥居
所在 あわら市井江殿
アクセス えちぜん鉄道あわら湯のまち駅から徒歩30分、北陸自動車道金津ICから車10分



14 三峯の大いちょう

種別 ①
スポット 石碑（説明あり）
所在 鯖江市上戸口町
アクセス 北陸自動車道鯖江ICから車30分



15 江波切妻屋根民家群

種別 ④
スポット 越前江波集落
所在 越前江波
アクセス 福井鉄道神明駅から福鉄バス「下江波」下車 徒歩5分



16 越前海岸の水仙畑 糠の文化的景観

種別 ①
スポット 案内サイン（白竜の滝、特務鑑閣東運難慰霊碑公園、松尾神社）
所在 南越前町
アクセス JR武生駅から福鉄バス「糠」下車 徒歩5分（松尾神社）



17 越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観

種別 ①
スポット 千枚田水仙園
所在 越前町梨子ヶ平・左右・血ヶ平
アクセス JR福井駅から京福バス「プラント3」経由「左右」下車 徒歩20分



18 越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観

種別 ①
スポット 案内サイン（春日神社）
所在 福井市浜北山町、居倉町、赤坂町、坂町、八ツ俣町
アクセス JR福井駅から京福バス「プラント3」経由「居倉」下車 徒歩5分



19 時を超えて受け継がれる、水海の田楽能舞

種別 ①、その他
スポット 案内サイン（春日神社）
所在 池田町水海 鶴甘神社
アクセス JR武生駅から福鉄バス「谷口」下車 徒歩20分



人々は、地域の風土との関わりの中で、生業を立て、生活を営み、長い年月をかけて、その土地の景観を形作りました。文化財保護法では、それを「文化的景観」とし、8つのカテゴリーに分類しています。

- ①農耕：水田・畑地など
- ②採草・放牧
- ③森林：木材林・防災林など
- ④漁業：養殖いかだなど
- ⑤水利用：ため池・水路・港など
- ⑥採掘・製造：鉱山や工場群など
- ⑦流通・往来：道や広場など
- ⑧居住：垣根や屋敷林など



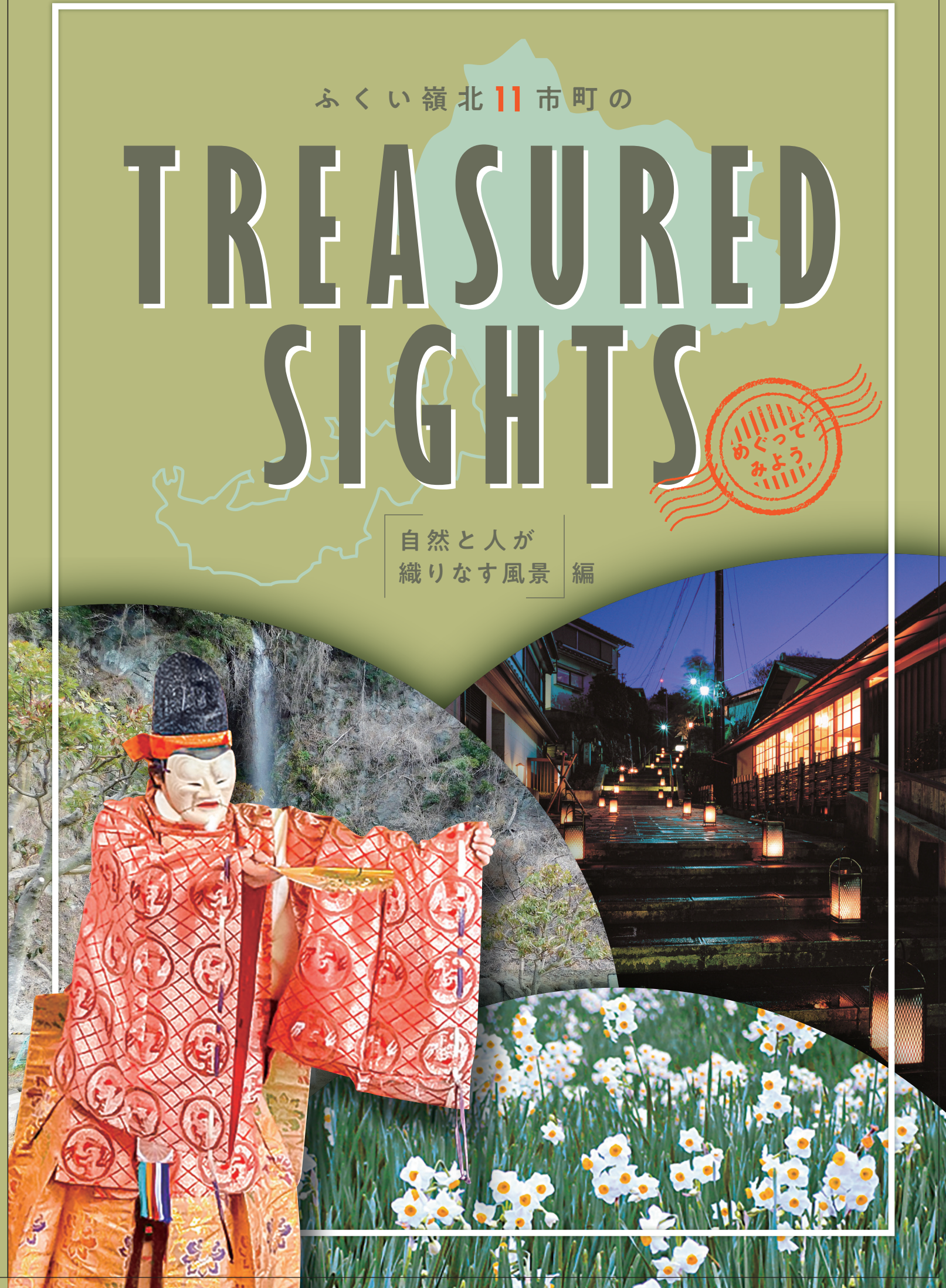
BEST SEASON

	名 称	市 町	春			夏			秋			冬		
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
1	五箇のまち並み	越前市												
2	愛宕坂周辺の足羽山・足羽川	福井市												
3	六呂瀬山古墳群から望む坂井平野の営み	坂井市												
4	平泉寺石畳の参道	勝山市												
5	安波賀街道	勝山市												
6	神の島・雄島を取り巻く暮らしと生業	坂井市												
7	許佐羅江清水	鯖江市												
8	九頭竜川鳴鹿大堰	永平寺町												
9	白山神社のカツラ	大野市												
10	タンス町通り	越前市												
11	九頭竜湖	大野市												
12	加越国境の旧北陸道	あわら市												
13	井江殿八幡神社の社叢林	あわら市												
14	三峯の大いちょう	鯖江市												
15	江波切妻根民家群	越前町												
16	越前海岸の水仙畑 糠の文化的景観	南越前町												
17	越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観	越前町												
18	越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観	福井市												
19	時を超えて受け継がれる、水海の田楽能舞	池田町												

発行元
ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン文化振興事業推進部会（令和5年3月）
福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、
永平寺町、池田町、南越前町、越前町

問合せ先
福井市商工労働部観光文化局文化振興課
〒910-0858 福井市手寄1-4-1 アオッサ 5階
TEL.0776-20-5367 FAX.0776-20-5670

このパンフレットで紹介した
文化的景観の詳細情報や、過去
に作成した文化資源パンフ
レット（山城篇／右瀬／近代化
遺産篇）はこちらでご覧ください。



自然と人が織りなす風景

人々は、地域の自然や歴史と深く関わりながら生業を立て、生活を営み続けています。長い年月をかけて築かれた、その土地ならではの特徴的な風景を紹介します。



5 五箇のまち並み | 越前市 |
五箇地区は、1,500年前から始まったとされる越前和紙の産地です。地区内には、権現山や国指定重要文化財の大瀧神社、卯立の家並みが見られます。特に大滝町には、岡本川に沿って製紙工場が点在するなど、まち並みには、産業や歴史、文化、自然など数多くの文化資源が受け継がれています。



4 平泉寺石畳の参道 | 勝山市 | 国史跡 | 日本遺産 | 国立公園 | 日本の道100選 |
平泉寺（現平泉寺白山神社）の参道で、現在は菩提林と称される杉並木の中に川原石などを平らに敷きつめた石畳道が走っています。その参道の途中にある大岩「牛岩・馬岩」は、願掛けの参拝者の前に大きな牛と馬の姿に変わって、その行く手をさえぎったと伝えられています。



5 安波賀街道 | 勝山市 | 日本遺産 |
安波賀街道は、かつて一乗谷（福井市）と平泉寺（勝山市）を結んだとされる道です。福井市側の美濃街道や血谷（福井市）と北西俣（勝山市）を結ぶ芦見道などが安波賀街道にあたると考えられています。道沿いには道中の安全などを願う石造物や道標などが今も存在し、平地部には農村風景が広がります。



2 愛宕坂周辺の足羽山・足羽川 | 福井市 |
愛宕坂は、柴田勝家が足羽山に愛宕神社を建立し参道として整備したことに始まります。勿谷石の石段が美しく、晴れた日には、展望所や山頂近くの自然史博物館から、福井市のまち並みや遠く白山が一望できます。春は足羽川の桜並木、秋は足羽山の紅葉が楽しめる、憩いのスポットです。



3 六呂瀬山古墳群から望む坂井平野の営み | 坂井市 |
六呂瀬山古墳群は、約1,600年前に築かれた越前の王たちのお墓です。北陸最大を誇る1号墳（前方後円墳）などは、その王たちが持っていた権力の大きさを今に伝えています。山頂にある古墳群からは、坂井平野が一望でき、季節で移り変わる稲作や蕎麦の栽培風景のほか、市内に水の恵みをもたらしてくれる鳴鹿大堰なども見ることができます。



6 神の島・雄島を取り巻く暮らしと生業 | 坂井市 | 国定公園 |
雄島は、越前海岸で最も大きな島で、海の神の島として信仰が寄せられています。島内の大湊神社（本殿・拝殿が県指定建造物）は、海上安全を祈願し建てられたといわれています。現在も、雄島地区では、海女漁が継続されており、春には豊漁を願う雄島祭りが奉納されるなど、特有の食文化や生活文化が受け継がれています。



7 許佐羅江清水 | 鯖江市 | 市史跡 |
室町時代成立の『舟津日記』には、「舟津七清水」と呼ばれる7か所の湧水池が掲載されています。ほかの清水が枯渇等するなか、「許佐羅江清水」は、今なおその姿をとどめていることから、貴重な名水として保存整備が行われてきました。また、「ふくいのおいしい水」に認定されるほど、質に優れており、今日でも水汲みに訪れる人々が後を絶ちません。



9 白山神社のカツラ | 大野市 | 県天然記念物 |
白山を水源とする打波川沿いにある下打波白山神社に生育する樹齢約1,000年のカツラの巨樹です。樹高は28m、幹周は14.5m、地上から約2.8mのところで主幹が多くの支幹にわかれていきます。養老元年（717）、白山を開山した泰澄大師が食事に使った箸を大地に挿したのが、現在の巨木になったと伝えられています。



11 九頭竜湖 | 大野市 |
九頭竜湖は、土や岩を幾重にも積みあげるロックフィル式ダム建設によってできた人造湖で、青森県の十和田湖に匹敵する大きさを誇ります。上流部に架けられた箱ヶ瀬橋は瀬戸大橋のテストケースとして掛けられたもので、「夢のかけはし」と呼ばれています。春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と、四季折々の美しさを見せてくれます。



12 加越国境の旧北陸道 | あわら市 | 市史跡 |
江戸時代の主要な街道である北陸道は、細呂木宿の北にある道標で吉崎道と分岐します。東へ進んで坂道を登り切ると、あわら市指定史跡の説明板があります。この先の加賀との国境付近は、当時の北陸道の面影を残す数少ない貴重な区間です。途中には、旅人の往来安全の名号塔や国境名号塔が残されており、歴史散策に最適な古道です。



8 九頭竜川鳴鹿大堰 | 永平寺町 |
九頭竜川鳴鹿大堰は、九頭竜川が山地に挟まれた谷平野をぬように流れ福井平野に出たところに立地しており、山地と河川とが織りなす素晴らしい景観を形成しています。また、歴史的にも、六呂瀬山、手繰ヶ城山等の県下有数の古墳群に囲まれ、古くから河川とともに栄えた地域です。夏には九頭竜川の風物詩である、鮎釣りの風景を見ることもできます。



10 タンス町通り | 越前市 |
タンス町通りは、元町、本町境の東西約200mの通りで、明治中期頃には成立していたとされています。通りには筆筒販売業者や建具商が十数軒集まっています。筆筒を扱う店舗は、少なくなっていますが、平入の切妻造、棧瓦葺、二階建て、間口が比較的大きな町屋が現存し、まち並みには往時の風情が残ります。



13 井江段八幡神社の社叢林 | あわら市 | 市天然記念物 |
井江段集落北方の台地上に鎮座する八幡神社の境内には、スダジイの巨木などで構成される、荘厳な社叢林が広がっています。また、旧参道には市内唯一の両部鳥居があり、貞享5（1688）年銘が刻まれています。建立年のわかる鳥居としては細呂木春日神社と並んで、あわら市最古です。



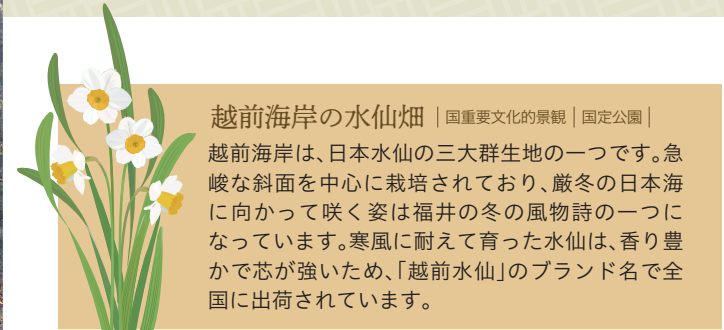
14 三峯の大いちょう | 鯖江市 | 市天然記念物 |
三峯の大いちょうは、江戸時代の書物『越前国名蹟考』に登場する古銀杏で、当地の象徴として多くの人々に愛されてきました。泰澄大師の母が、この木の「こぶ」を煎じて飲むと乳の出がよくなったという伝承から「乳授けの大いちょう」とも呼ばれ、地元のみならず遠方の来訪者にも重宝されたそうです。五六豪雪で折損し存続が危ぶまれましたが、地元有志の手で樹高10mを超える見事な姿へと再生しました。



15 江波切妻屋根民家群 | 越前町 | 美しい日本のむら景観百選 | 福井ふるさと百景 |
切妻屋根に銀鼠色の越前瓦、白い漆喰の壁に木材を格子状に組んだ伝統的民家が残る集落が、越前町内にはいくつもあり、特に江波区は、昔ながらの農村景観が顕著に残っています。



19 時を超えて受け継がれる、みずうみ 水海の田楽能舞 | 池田町 | 国重要無形民俗文化財 |
雪が降り積もり、田畑や山は白銀の世界に覆われる池田町の冬。そんななか、水海地区の鵜甘神社では、毎年2月15日に伝統行事「水海の田楽能舞」が奉納されます。舞い手も囃子もすべて水海地区の住人で、約760年も伝統を伝える者としての誇りを持ち、毎年奉納に望んでいます。神社で奉納される神事であるだけに、見る方も身が引き締まります。



越前海岸の水仙畑 | 国重要文化的景観 | 国定公園 |
越前海岸は、日本水仙の三大群生地の一つです。急峻な斜面を中心に栽培されており、厳冬の日本海に向かって咲く姿は福井の冬の風物詩の一つになっています。寒風に耐えて育った水仙は、香り豊かで芯が強いので、「越前水仙」のブランド名で全国に出荷されています。



16 越前海岸の水仙畑 糠の文化的景観 | 南越前町 |
越前海岸の南部に位置する糠地区は、大部分が山林で田畑が少ないことから、漁業や林業などのほか冬の時期には杜氏の出稼ぎにでるなど、いくつもの生業を合わせながら生活が営まれてきました。水仙栽培は、冬の副業の一つとして自生していた水仙を出荷したことにはじまり、斜面の畑や棚田に栽培地を広げていき、地域の特産品として発展していきました。



17 越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観 | 越前町 |
上岬とは、明治時代に上岬村であった4集落のことで、このうち梨ヶ平・左右・血ヶ平の人達が現在も水仙栽培に携わっています。大正時代にはじまった水仙栽培は、冬は波風が荒く厳しい越前海岸のくらしを支えてきました。越前岬の断崖に続く急斜面や山腹の開墾跡に広がる広大な水仙畑は、そこで生きてきた人達のくらしの歴史です。



18 越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観 | 福井市 |
下岬地区は、越前海岸の日本水仙発祥の地といわれており、昭和初期には組合を組織して盛んに水仙を出荷していました。水仙畑は、棚田跡や海岸段丘上、急傾斜地に広がり、石積みやイチョウ、ミカンの木が見られるなど様々な生業があったことを感じさせます。